## 推進工法用設計積算要領 「小口径管推進工法 低耐荷力管推進工法編 2022改訂版」 正誤表

	修正日	修正ページ等
	2022/6/1	32、76、79、81、255、439
	2022/7/15	137、309
改	2022/7/26	284、295
訂	2022/9/27	97、98、101、432
履歴	2022/9/30	378
産	2022/11/11	224、409
	2024/5/21	278

	<b>丁</b> 細士	ANY BIG								
正誤表箇所           ページ         図表等			農				正			
	7,4	bust 5.2.4	砂質土の備考欄 50%以上	る以上 表1−10 選定のための土質分類			砂質土の備考欄 50%未満	砂質土の備考欄 50%未満 表1-10 選定のための土質分類		
				土質分類	土 質	備考		土質分類	土 質	備考
				粘 性 土	腐植土 (※1有機質土) シルト 粘土 ローム	粒径75μm未満が粒径加積曲線 において50%以上とする ただし、高有機質土(※1)は適 用外である		粘 性 土	腐植土 (※1有機質土) シルト 粘土 ローム	粒径75μm未満が粒径加積曲線 において50%以上とする ただし、高有機質土(※1)は適 用外である
32	第1章 基本的な考え方 第4節 低耐荷力管推進工法 の適用性	表1-10 選定のための土質分類		砂質土	シルト粘土混り砂 ルーズな砂 締まった砂 碟混り砂	粒径75 μ m未満が粒径加積曲線 において50%以上かつ粒径2mm 以上が15%未満(※2)とする		砂質土	シルト粘土混り砂 ルーズな砂 締まった砂 礫混り砂	粒径75μm未満が粒径加積曲線 において50%未満かつ粒径2mm 以上が15%未満(※2)とする
				碟質土 粗石・巨石 ※2 泥水式は、2	緩い砂礫 締まった砂礫 粗石混り砂礫 粗石・巨石層 20%未満までとする。	(3) 機を含む地盤の適用につい てを参照し検討する必要がある		礫質土 粗石・巨石	緩い砂礫 締まった砂礫 粗石混り砂礫 粗石・巨石層	(3) 礫を含む地盤の適用につい 工を参照し検討する必要がある
								※2 兆水式は、	20%未満までとする。	
76	第1章 基本的な考え方 第6節 積算基準 6.1 作業時間 6.1.2 稼働時間の補正		図番を訂正 P76(4行) 図1-38				⊠1-39			
79	第1章 基本的な考え方 第6節 積算基準 6.2 車上式プラントによる 補正		図番を訂正 P79(10行) 図1-39				図1-40			
81	第1章 基本的な考え方 第6節 積算基準 6.2 車上式プラントによる 補正		図番を訂正 P81(5行) 図1-40				図1-41			
97	第2章 圧入式の積算	代価表 B-1 パイロットパイプ(誘導管)推進工	硬質塩化ピニル管推進工 機械器具損料(2)単位欄 箇所		# 日 形状寸ゼ	B - 1 - 2    2 所	硬質塩化ピニル管推進工 機械器具損料(2)単位材 日	阐	## 目 形状寸  土 木 一 般 世 話 役  特 珠 作 業 員  ラ レ ー ン 築 園 付 トラック 連 転 製工	日 B-1-2 日 S-1-3

	正記	呉表箇所	誤	正		
ページ	項番	図表等		vertical to the life of the li		
98	第2章 圧入式の積算	代価表 B-2 硬質塩化ビニル管推進工	<ul> <li>砂質塩化ビニル管推進工機械器具損料 (2) 単位欄</li> <li>(1m当り)</li> <li>(1m当の)</li> <li>(1m当の)</li></ul>	世 (1m当り)    日		
101	第2章 圧入式の積算	代価表 B-6 坑口工	種目欄 溶接工  (1箇所当り)  種 目 形状寸法 単位 数量 単価(円) 全額(円) 摘 要  土 木 一 般 世 話 役 人 0.2 表2-1-7  着 通 作 業 員 人 0.2 表2-1-7  世 水 器 個 1 表2-1-7  鍋 材 溶 接 エ m B-6-1 表2-1-7  鋼 材 切 斯 エ m B-6-2 表2-1-7  ク レ ー ン 装 置 付 4t級2.9t吊 時間 0.2× トラック 連 転 費 4t級2.9t吊 時間 0.2× トラック 連 転 費	特殊作業員		
137	第2章 圧入式の積算	表2-3-6 硬質塩化ビニル管推進標準日進量 下段 SR-50S欄の訂正 0.8m・1.0m	表 2-3-6 模質塩化ビニル管質連模率日連量 (単位 15 - 2007	数 2-3-6 接貨塩化ビニル管養液標準日達量 (単位: m/目)		
224	第3章 オーガ式の積算	表3-5-28 鏡切り工歩掛 (切断延長1m当り)	表内 ライナーア・レート/土木一般世話役 0.06 (単位:人/m) (単	土留種類   ライテーア*レート   日洞杭   銅矢板   銅製   ケーシック* 立   七 = 2.7mm   t = 3.2mm   H - 200   H - 250   II 型   II 型   IV 型   坑		
255	第3章 オーガ式の積算	表3-6-13 ダンプトラックの 車種と積載量	表3-6-13 ダンプトラックの車種と積載量	表3-6-13 ダンプトラックの車種と運転手及び軽油数量		
278	第4章 泥水式の積算	代価表 D-1-1-4 機械器具損料 (3)	滑材注入装置 記載なし	滑材注入装置を追記  D-1-1-4 機械器具損料 (3)  (1日当り)  (1日は日間は、日間は、日間は、日間は、日間は、日間は、日間は、日間は、日間は、日間		
282	第4章 泥水式の積算	表4-7-20 坑口工歩掛表	呼び径450、500の記載なし	呼び径450、500を追記		

	正誤表	1 111 1	誤	正			
ページ	項番	図表等					
			V500記載なし 表4-7-22 鏡切り延長 (1箇所当り)	V500を追記 表4-7-22 鏡切り延長 (1箇所当り)			
284	第4章 泥水式の積算	表4-7-22 鏡切延長	呼び径 V200 V250 V300 V350 V400 V450 延長(m) 1.2 1.4 1.7 1.9 2.1 3.0	呼び径 V200 V250 V300 V350 V400 V450 V500 延長(m) 1.2 1.4 1.7 1.9 2.1 3.0 3.0			
295	第4章 泥水式の積算	表4-7-37 ビット補修費歩掛	セル未結合       表4-7-37 ビット補修費歩掛       度 目     Y200 Y250 Y300 Y850 Y400 Y450 Y500       土木一般世話校 (人)     0.5       特殊作業員 (人)     1.0       溶 接 工 (人)     1.0       普通作業員 (人)     1.0       酸 素 (㎡)     7.0       アセチレン (kg)     2.8       溶接棒 (商務分額) (kg)     1.0       治接棒 (商務分額) (kg)     0.2       カッタービット (個)     4       各 8     7       多 9周カッタービット (個)     4       2 8     0.4       溶接機綱科 (日)     0.3       (3)     0.4       電力 科 (k冊)     8.0	セル結合  表4-7-37 ビット補修費歩掛  (1回当り)  (1回当はり)  (1回当り)  (1回			
309	第4章 泥水式の積算	表4-8-3 適用掘進延長	表内 呼び径450    William	表内 呼び径400			
378	第5章 泥土圧式の積算	表5-10-5 推進標準日進量 タイプ I -1 (TP40SCL) (高水位・礫、玉石混り土)	管体長2mの呼び径200、250の土質[C]の日進量 呼び径200 3.9 250 5.6	管体長2mの呼び径200、250の土質[C]の日進量 呼び径200 4.1 250 3.9  (単位: m/H) : (■			
409	第5章 泥土圧式の積算	表5-10-29 鏡切り工歩掛 (切断延長1m当り)	表内 ライナープ・レート/土木一般世話役 0.06 (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (単位:人/m) (サンジア立 サンジア立 サージア 立 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	表内 9イナープ・レート/ 土木一般 世話役 0.006 (単位: 人/m) :			

	正誤表	箇所	誤	正		
ページ	項番	図表等	<b>识</b>			
432	第5章 泥土圧式の積算	代価表 B-1 硬質塩化ビニル管推進工	特殊作業員の数量 1.0    日	特殊作業員の数量 2.0    日本		
439	第5章 泥土圧式の積算	表5-11-13 ダンプトラックの 車種と <mark>積載量</mark>	表題 表5-11-13 ダンプトラックの車種と <mark>積載量</mark>	表題 表5-11-13 ダンプトラックの車種と <mark>運転手及び軽油数量</mark>		